

神山神社だより

平成28年3月
15号

ついこの間、正月を迎えたと思ったら、もう三月になってしまいました。月日は

年齢とともに早く過ぎると言いますが、真に実感しているしだいです。冬と云う季節でありながら正月は暖かく、一月の終わりにには大雪が降り、二月にはコートを着たり脱いだりの、めまぐるしく変わる外気温度に体調も崩された方も多くいらつしやったことと存じます。また、小学校ではインフルエンザが流行り、心配された方もいると聞きます。体には気を付けていただきたいと思っています。

昨年も氏子の皆様のおかげで無事、神社の各行事を済ませることが出来ました。神明奉仕に感謝申し上げます。

神社界では、郷土の文化伝統を守るため神社を中心とした活動を多く広く進めております。神山神社も皆様方の鎮守の森として、また安らぎの場所として、維持活動出来るよう考えておりますので、今後ともご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



■ 近況報告

・ 元旦祭

今年一年の氏子の皆様方の無病息災と明るい社会であることを祈願するお祭りです。昨年は雪の吹雪く中行ないましたが今年は天気もよく気持ちの良いお祭りとなりました。また境内では四年ぶりに新年マラソンが行なわれました。

一日には還暦奉祝祭を行い、四十九名の方がお参りされ、奉納金として四十九万円献上していただきました、誠にありがとうございました。神社の維持管理費としてありがたく使わせて頂きます。

・ 伊勢参拝旅行

一月十九日・二十日にて伊勢参りに行つてまいりました。この旅行は岐阜県神社庁中津川支部主催の旅行で旧福岡の方たちと合同でお参りする旅行で総勢百七十四名のバス五台で出掛けてまいりました。通常の伊勢旅行と違うのは、内宮での御垣内参拝、御神楽奉納、猿田彦神社正式参拝が設けられております。年を重ねるごとに参拝者の人数が増え

楽しく行つて来ることができました。毎年行なっている行事ですのでまだ参加されたことのない方はぜひ来年参加されてはいかがでしょうか。

・ 交通安全祈願祭

一月三十一日に中津川市交通安全協会福岡支部主催にて執り行いました。安全協会役員を始め区長・市議・警察官の方々が参加され一年の安全・無事を祈りました。交通安全に携わる方のご苦労には大変感謝いたしております。皆様方も交通事故を起こさない、遭わないよう、神山神社のお守りを見て注意喚起してください。

・ 天神神社祭典

一月十九日に区長・小学校校長を来賓に招き執り行いました。この神事は、境内中段にある天神神社で御祭神は菅原道真公です。この神様は実在の人物で学業の神様と呼ばれています。神事の後は小学生3年生・4年生・5年生・6年生による書の奉納行事が社務所にて行なわれます。日頃の書の腕前を見ていただく機会として永きに渡り続けられています。書き終えた書は総合事務所のホットサロンに掲示しておりますのでぜひ見ていただきたいと思います。

・ 春祭り（祈願祭）

斎行日 三月一日（火）

区長を始め、区内の各役員の方を招いて今年の農作物の豊作・工業商業の栄える事を祈願するお祭りです。役員の皆様方が心一つにして前向きに事を進めることを誓います。

■ 山の神

最近、家のことでも、仕事のことでもそうですが、妻に聞いてから決めることが多くなってきたように思います。以前は家長である自分が決めていたのに妻に聞かないと決められなくなった気がします。年とともに弱気になったのかなあ。

世界では「日本は最悪の女性差別の国」であると烙印を押されているようですが、その内容を一部紹介すると、「出産で一度退社してしまうと職場復帰が難しい」「女性の議員、大臣が少なく、女性が首相になつたことがない国」「世界的に見て日本女性だけが異常な労働環境にある」などとなります。しかし、夫がなれるのはせいぜい、「亭主関白」であり、妻の場合には「嫡天下」「山の神」である、基本的には日本は昔から女性のほうが偉かったのである。山の神といえど霊峰富士山に祭られている神様は「木花咲耶姫神」であります。また、伊勢神宮

の内宮に祭られている神様は、皆さんも知っているように「天照大御神」です。神社から各家庭に頒布しております神宮の神札の神です。まだまだ多くの女性の神様がいらつしやいます。このように思えば如何に女性を大事にしてきたかが判ると思います。男性であれ女性であれ仕事の環境は厳しいものですが、このような文化的背景を知らずして世界は女性差別の国といっているのはおかしい話です。男性も女性もそれぞれ役割があり其の役割の範疇を越えるようなことを相手に強要せず、協力し合うことが大事であると思います。

■ 神社と氏子の役割

全国にはお寺が七万六千寺あり、三十一万人のお坊さんが勤めております。では神社で宗教法人として登録されている数は八万千社あります。そして神職の人数は八万人といわれておりますが、神社と同じ神道系の神社は七万八千社で神職数は二万人程となります。この違いを見てもわかるように神社を神職だけで維持運営するには如何に難しいことであるか良くわかると思います。一般的には、氏子組織を組んでお守っているのが現状です。氏子の皆様方の理解があるからこそ神社が成り立っているわけです。

しかしながら、地域によっては神職もいなければ氏子組織もない神社が数多く存在しており、町内会の持ち回りの役で細々とお祭りされているところもあります。以前は八万社と呼ばれていたのが二千社ほどなくなつてしましてお祭りでなくなつた神社は合社と云う形で大きな神社に移されています。お寺の現状はといいますと神社よりもさらに厳しいものであると思います。この地方でも神社の規模、氏子世帯数の規模により其の差は歴然としていますが、如何に神社を盛り立て地域の活性化を図っていくか考えていかなければなりません。これからの命題として皆様方が前向きに捉えていただければ幸いです。

■ 神社の抱える問題点

神社をお守する事を神社維持運営と私たちは言っていますが言い方を変えれば神社経営である。世俗的な言い表しであるので経営と云う言葉を使うとお叱りを受けることがあります。実際のところ神様がどうにかしてくれる訳ではありません。私たち神職は生業を営み、神に感謝する生活を送ることを基本としていますが、神職と云う職業で生活は出来ない為、別に仕事お持ち生活をしています。ましてや、神社を守るとは神事を行な

う事ばかりでなく、時代の対応とともに古くなった施設の維持や改修までも考えていかなければなりません。祖先が守ってきた神社を衰退させるわけには行きませんし、崇高な理念だけでは神社は維持できないのです。現況の施設も古く近く修復なり改修なりを行なう必要があります、新たな価値を生み、感動を創造できる施設へとする為に、今年一年模索していくつもりです。考えがまとまりましたら、皆様方の更なるご協力をお願いいたします。

■ 三月祭事予定

- ・ 戦没者慰霊祭
三月二十一日十時
中津川市福岡遺族会主催
榊山神社 社務所
- ・ 永代供養祖霊舎御霊祭り
三月二十一日十四時
榊山神社神職一同
榊山神社 氏子会館
- ・ 東日本大震災鎮魂祭
三月二十一日十六時
区長・氏子総代会
榊山神社 拝殿



榊山神社ホームページ <http://www.mdworks.jp/>

岐阜県神社庁ホームページ <http://www.gifu-jinjacho.jp/>

